

第1回全国小水力発電サミット in 都留 開催要項

テーマ 「流れる水で地域が輝く」

目的	<p>古くから豊かな水の恵みを享受し、水害とも闘ってきた先人たちは、そのエネルギー利用にも取り組んできました。日本は世界で最も早く水力発電に乗り出した国のひとつです。水力発電は農山村の自給用エネルギーとしても、都市への供給エネルギーとしても大きな役割を担ってきました。</p> <p>いま、地球温暖化を背景に、地域のエネルギー資源である小水力が見直され、全国で小水力発電を復興させようという機運が高まっています。そこで、小水力発電に関心を寄せる人々が一堂に集い、小水力発電をめぐる現状と課題などの認識を共有し、力を合わせて普及を図るために、全国小水力発電サミットを企画しました。</p> <p>記念すべき第1回サミットの開催地となる山梨県都留市は、日本の水力発電発祥の地のひとつです。都留市の先人は、すでに明治時代に市民出資の小水力発電所を建設しました。その後、大規模水力の時代が続き、この小水力発電所は姿を消してしまいました。およそ半世紀を経て、市内を流れる小さな水の流れを再評価し始めた都留市民は、市の中心部に「元気くん1号」と「元気くん2号」という2つの市民水力発電所を完成させました。</p> <p>いまや小水力発電の先進地となった都留市で、農山村のエネルギー自給や地域の活性化、地球温暖化防止などさまざまな可能性をもつ小水力発電の魅力について語り合い、交流の輪を広げ、小水力発電の普及を加速していくことを目的に、第1回全国小水力発電サミットを開催します。</p>
日時	平成22年10月16日(土)～17日(日)
開催地	山梨県都留市
主催	第1回全国小水力発電サミット in 都留実行委員会 (都留市、全国小水力利用推進協議会、山梨県小水力利用推進協議会)
共催	山梨県地球温暖化防止センター
後援(予定)	経済産業省、農林水産省、環境省、国土交通省、山梨県、公立大学法人 都留文科大学、富士急行株式会社、財団法人 新エネルギー財団、ターボ機械協会、社団法人 電力土木技術協会、社団法人 山梨県建設産業団体連合会、山梨県土地改良事業団体連合会、株式会社 山梨日日新聞社、株式会社 山梨新報社、株式会社 テレビ山梨、株式会社 山梨放送、NHK 山梨放送局、株式会社 エフエム山梨、株式会社 エフエム富士など
参加費	無料 (ただし、交流会会費、昼食代などはご負担いただきます)
事務局	第1回全国小水力発電サミット実行委員会 山梨県都留市 総務部 政策形成課 住所: 402-8501 山梨県都留市上谷 1-1-1 TEL: 0554-43-1111 (代) FAX :0554-45-5005 電子メール: Summit@j-water.jp